

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp



研修講座 B-4 生徒指導① を実施しました！

「『生徒指導提要』の改訂をふまえたこれからの生徒指導の方向性」

【講師】 関西外国語大学 教授 新井 肇 先生

6月23日(金)に研修講座「生徒指導①」を実施しました。講師に関西外国語大学教授の新井肇先生をお迎えし、『生徒指導提要』の改訂をふまえたこれからの生徒指導の方向性」と題して、ご講義いただきました。

はじめに、児童生徒の問題行動・不登校の増加は、「心の危機」の深刻化であり、困った子行動をする子ではなく課題を抱えて困っている子という視点に立つこと、「問題行動」ではなく児童生徒による大人や社会、教員や学校に対する「問題提起行動」と捉える必要があることを改めて確認することができました。

次に生徒指導提要（改訂版）が示す生徒指導の方向性として、3点話がありました。

①子どもが主語の生徒指導。

⇒児童生徒が社会の中で自分らしく生きることができる存在へと自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動。

②学習指導と生徒指導の一体化。

⇒生徒指導の視点（自己存在感の感受への配慮、共感的人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を意識した授業。

③「チーム学校」による生徒指導体制の構築。

⇒学校と専門家・関係機関及び地域・家庭との連携・協働の強化。



この話の中で特に印象に残ったのは、「チーム学校」です。教職員自身も1人で抱え込まないこと、このメンバーなら話することができるという安心感を学校全体として作ることが協働的で実効的な指導・相談体制として機能することにつながると思いました。

本講座で学んだことを各校・園で還元していただきますようよろしくお願いいたします。

アンケートより 【一部抜粋】

- ・子どもと関わる中で、子どもが発した言葉の本当の中身、気持ちまで読み取ること、じっくり話を聴いてあげることが大切であると感じました。また、学校はチームで動いているため1人で動くのではなく、相談して学校として動くことが大切であると改めて感じました。（小）
- ・今回の研修の中で特に大事にしなければいけないと思った点は、トラブルや指導が必要な事案があった時に1人で抱えないということです。職場では、他の人も忙しそうだし、自分でできることは自分でしなければと思ってしまうこともあるので、ささいだと思うことでも共有して動こうと思いました。（中）